

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22030	事業名	し尿処理施設大規模整備事業				評価分類	A1	
	事業手法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()								
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			予算科目	会計	01:一般会計		
		基本施策	08:脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進と循環型社会の構築				款	04:衛生費		
		施策の方向	04:廃棄物処理施設の適正管理				項	02:清掃費		
	重点プロジェクト	-			目	03:し尿処理費			担当部署	
事業期間	R 1 年度 ~ R 11 年度		主な根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律			部	産業環境部	
② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)		事業の対象(誰に、何に対して)		事業の目的(どのような状態にしたいのか)		事業の内容(どのような取組を行うのか)			
	し尿処理施設は昭和62年の稼働から長期間が経過し、主要な設備が耐用年数を迎えるなど老朽化が進行しており、施設の延命化を図っていく必要がある。		し尿処理施設		し尿処理施設の延命化を図る。		衛生公苑長寿命化計画に基づき、主要な設備・機器の更新や改良工事を行う。また、さらなる延命化を進めるため、長寿命化計画の見直しを行う。			
③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	事業計画		○大規模整備工事		○大規模整備工事 ○長寿命化計画の改訂		○大規模整備工事		○大規模整備工事	
	活動実績 (計画通り実施できたか)		衛生公苑長寿命化計画に基づき、主要設備や機器のの整備工事を実施した。 ○受入貯留槽設備、一次二次処理設備ほかの整備工事		衛生公苑長寿命化計画に基づき、主要設備や機器の整備工事を実施した。 ○受入貯留設備、一次二次処理設備、高度処理設備、汚泥処理設備ほかの整備工事 衛生公苑長寿命化計画(改訂)業務委託		衛生公苑長寿命化計画に基づき、主要設備や機器の整備工事を実施した。 ○受入貯留設備、一次二次処理設備電気計装設備ほかの整備工事		衛生公苑長寿命化計画に基づき、主要設備や機器の整備工事を実施した。 ○受入貯留設備、高度処理設備ほかの整備工事	
	計画額	事業費	24,800千円	23,408千円	36,300千円	30,250千円	36,300千円	30,360千円	45,100千円	40,150千円
		国・県支出金		0千円		0千円		0千円		0千円
		地方債	18,600千円	17,500千円	24,400千円	18,300千円	27,100千円	22,700千円	33,800千円	30,100千円
		その他		0千円		0千円		0千円		0千円
		一般財源	6,200千円	5,908千円	11,900千円	11,950千円	9,200千円	7,660千円	11,300千円	10,050千円
	決算額	事業費		23,408千円		30,250千円		30,360千円		40,150千円
		国・県支出金		0千円		0千円		0千円		0千円
		地方債		17,500千円		18,300千円		22,770千円		30,100千円
		その他		0千円		0千円		0千円		0千円
		一般財源		5,908千円		11,950千円		7,590千円		10,050千円
	①期間内計画額(R4-7)		142,500千円		②期間外計画額(R8-)		111,330千円		①+②総計画額	

④指標(C)

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
大規模整備工事の進捗率	実施済み事業費/総事業費	活動	%	計画値	31	42	53	66
				実績値	29	38	47	59
				計画値				
				実績値				

⑤成果(C)

判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
A	受入貯留設備、高度処理設備等の主要設備の整備工事を実施したことにより施設の適正管理と安全安心で効率的なし尿、浄化槽汚泥の処理が可能となった。
十分な成果を得た	

⑥課題(C)

事業の達成状況等を踏まえた課題事項
現し尿処理場の衛生公苑長寿命化計画では令和11年度までを大規模整備事業の実施期間としているが、次期し尿処理施設稼働開始計画年度を令和24年度としている。次期し尿処理施設の稼働時期を見据え、主要設備・機器の整備計画、施設の強靱化など更なる延命化について検討する必要がある。

⑦事業の展開(A)

方向性	
継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
改善・見直し内容	
令和8年度で対応する(した)もの 引き続き、受入貯留設備、電気設備等の大規模整備工事を実施するとともに、設備・機器、建築物等の整備内容を見直す。	令和9年度以降で対応するもの 令和8年度の見直しに基づき、衛生公苑大規模整備事業を実施。

【履歴】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A	B	A	A
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)

1次評価者	産業環境部 環境課 廃棄物対策グループ 副参事(兼)GL 小坂 博文
最終評価者	産業環境部 環境課 参事(兼)課長 村田 博

(令和7年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	40,150千円
次年度への繰越額	0千円

事業の対象		事業の目的	
し尿処理施設		し尿処理施設の延命化を図る。	